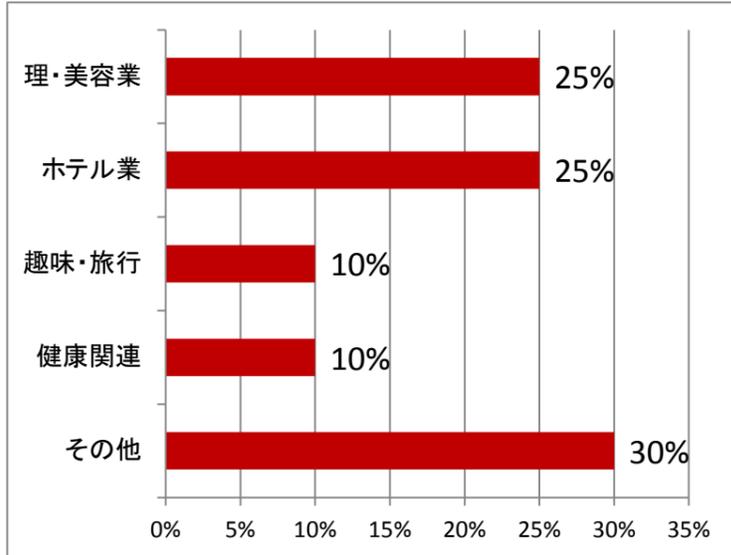


# 【平成30年1月実施 景況調査アンケート集計結果】

## ◆◆ サービス業 ◆◆

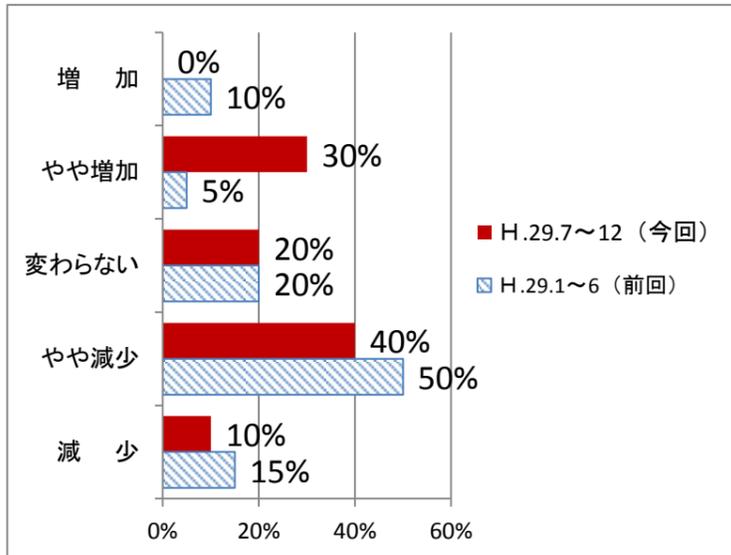
### 【分類別】



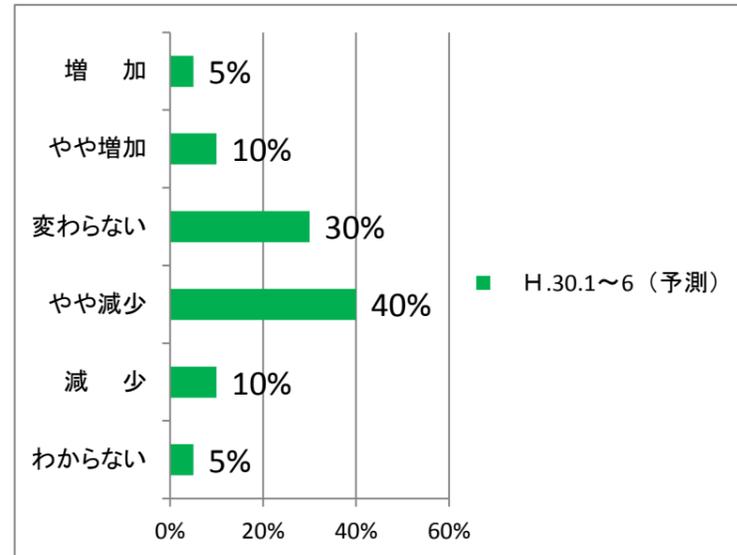
理・美容業25%、ホテル業25%、趣味・旅行10%、健康関連10%、その他(衣料品、クリーニング店他)30%

### 【売上】

#### 今回結果と前回結果の比較



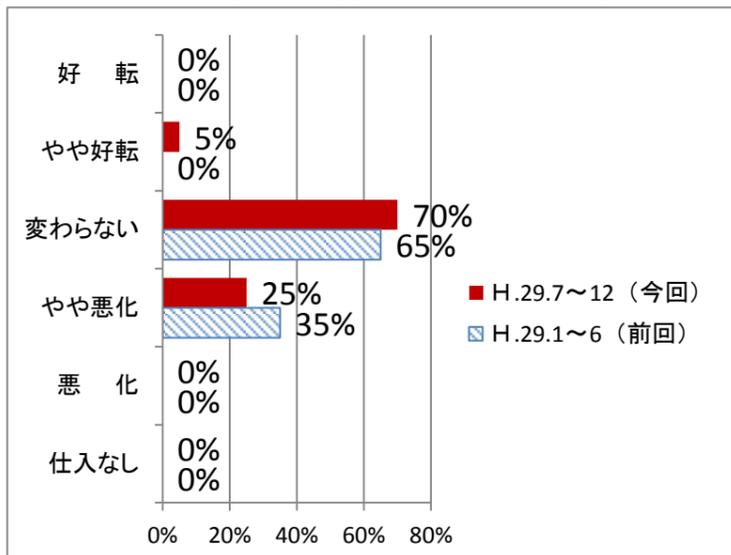
#### 予測(平成30年1~6月)



増加傾向の回答30%に比べ、減少傾向の回答が50%となっており、前回より若干、改善傾向にあるものの、厳しい状況になっている。

### 【仕入】

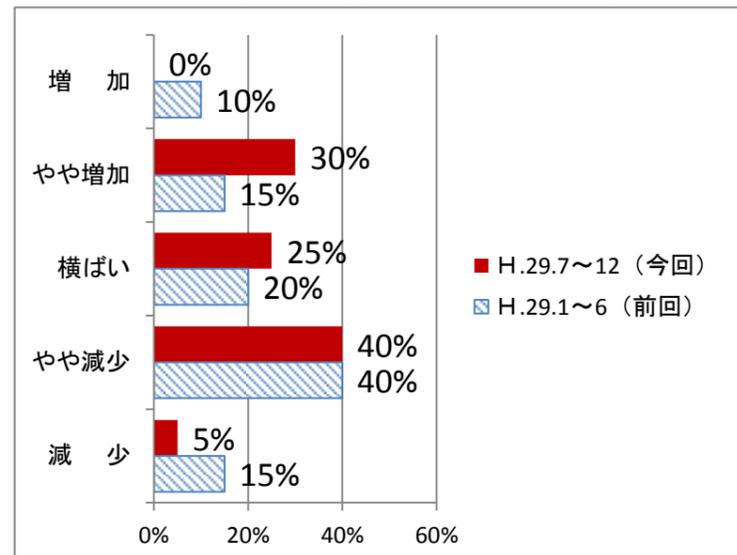
#### 今回結果と前回結果の比較



70%の事業所が「変わらない」と回答しており、前回とほぼ変化は見られない。

### 【利益】

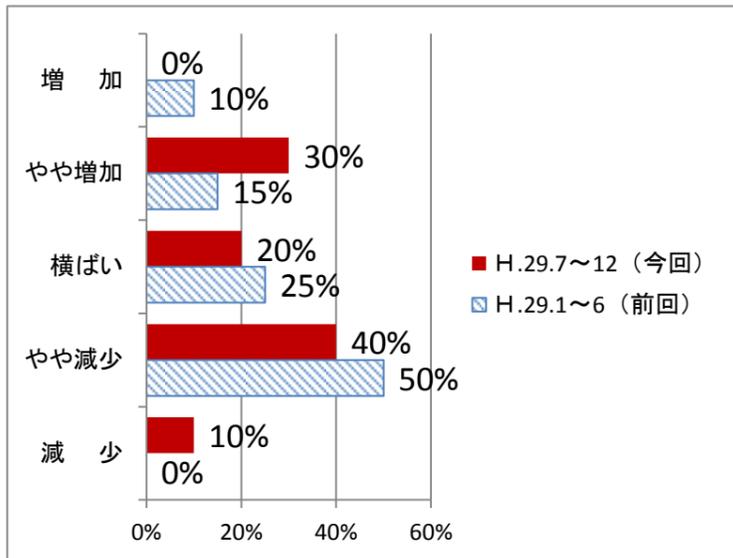
#### 今回結果と前回結果の比較



「やや増加」との回答が前回の2倍になったものの、減少傾向との回答が、増加傾向の回答を上回っており、前回と比較しても、あまり改善されていない。

## 【客数】

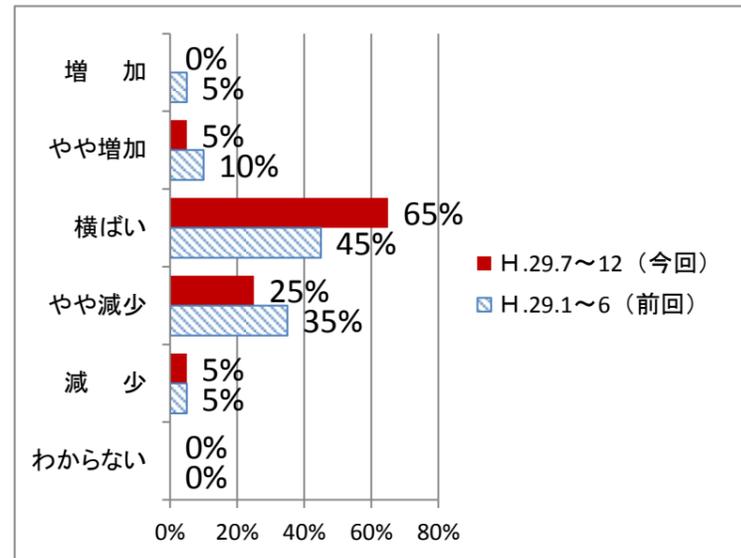
### 今回結果と前回結果の比較



「減少」と「やや減少」が半分を占める回答となっており、前回に引き続き厳しい状況になっている。

## 【客単価】

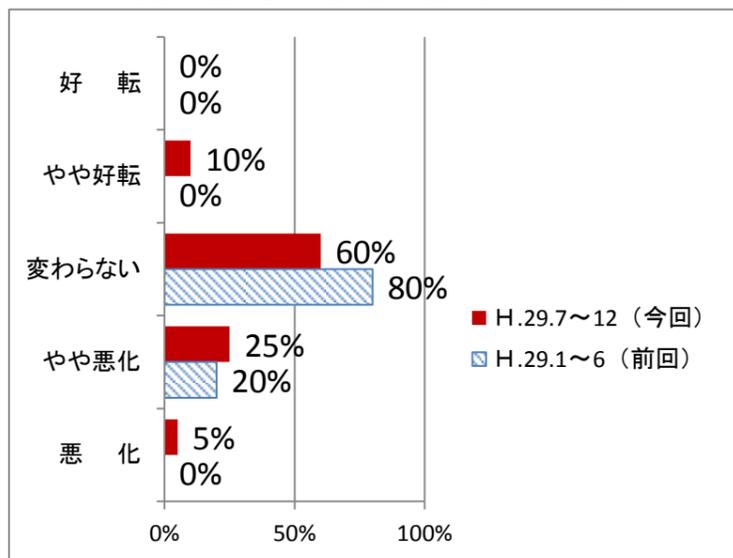
### 今回結果と前回結果の比較



65%が「横ばい」と回答している。減少傾向の回答・増加傾向の回答共に前回より大きく減少している。

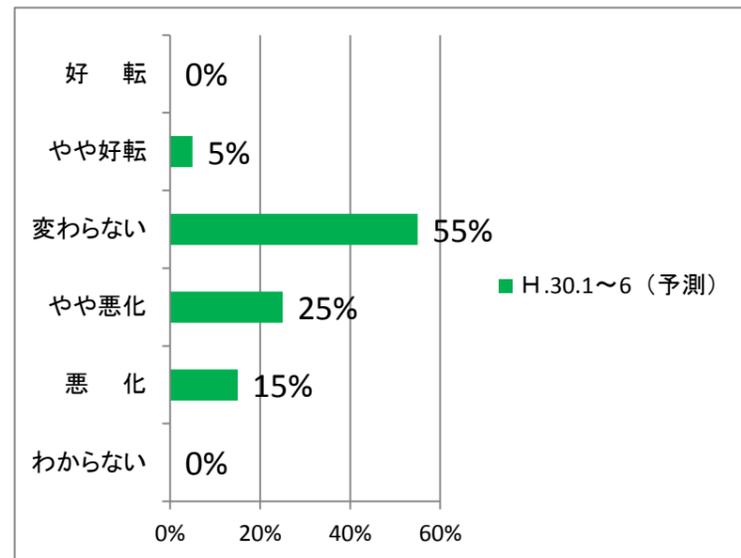
## 【資金繰り】

### 今回結果と前回結果の比較



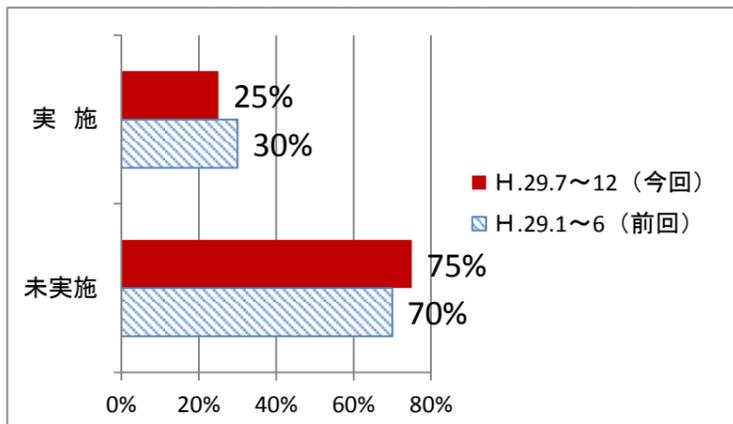
「変わらない」との回答が60%を占めているが、前回より悪化傾向の回答が増加している。予測としても悪化傾向にあるので、厳しい状況が続いている。

### 予測(平成30年1~6月)

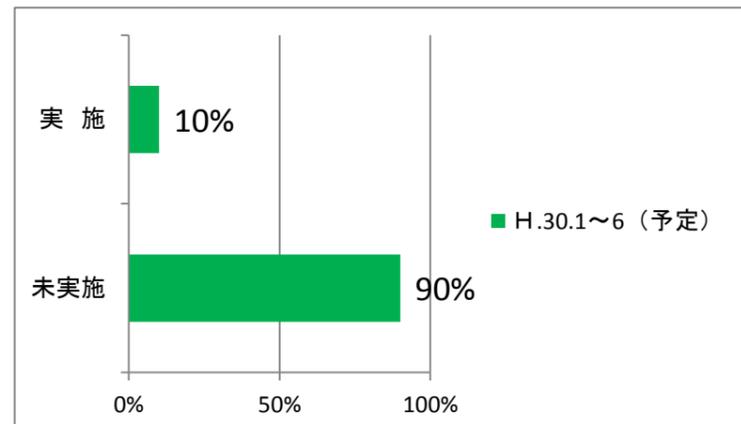


## 【設備投資】

### 今回結果と前回結果の比較



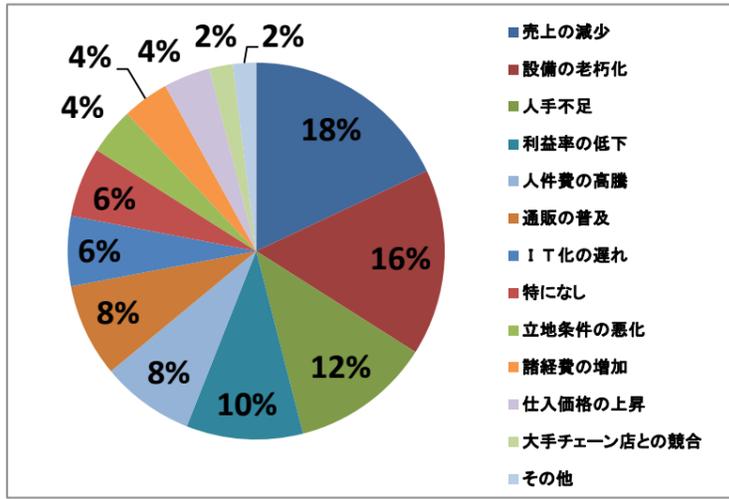
### 予定(平成30年1~6月)



前回より実施した事業所が若干減少している。現在のところ、ほとんどの事業所が実施する予定はない。

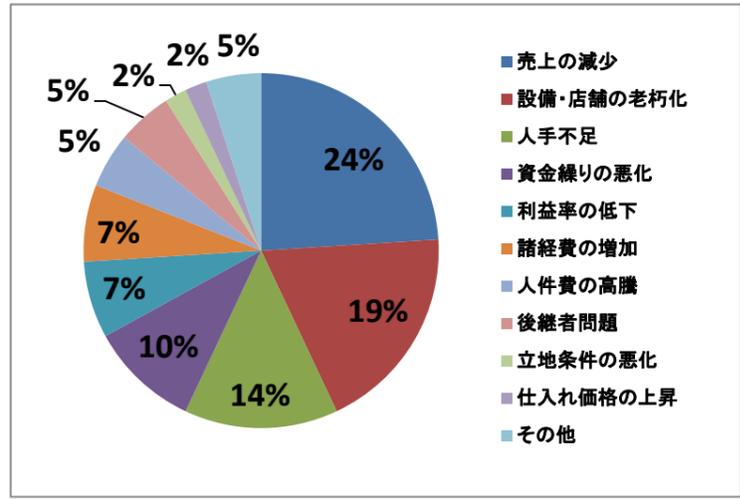
## 【 経 営 課 題 】

今回(平成29年7~12月)



売上の減少	設備の老朽化	人手不足	利益率の低下
18%	16%	12%	10%
人件費の高騰	通販の普及	IT化の遅れ	特になし
8%	8%	6%	6%
立地条件の悪化	諸経費の増加	仕入価格の上昇	大手チェーン店との競合
4%	4%	4%	2%
その他			
2%			

前回(平成29年1~6月)



売上の減少	設備・店舗の老朽化	人手不足	資金繰りの悪化
24%	19%	14%	10%
利益率の低下	諸経費の増加	人件費の高騰	後継者問題
7%	7%	5%	5%
立地条件の悪化	仕入れ価格の上昇	その他	
2%	2%	5%	

「売上の減少」「設備の老朽化」「人手不足」については、前回に引き続き主な課題として回答されている。  
 前回回答の無かった「通販の普及」が8%、「IT化の遅れ」が6%を占めている。  
 「資金繰りの悪化」が前回10%だったのに対して、今回は回答なしという結果となった。